

令和2年度淀川区区政会議 第2回教育・子育て部会 議事要旨

日 時：令和2年3月10日（水）午後6時43分～午後7時27分

場 所：淀川区役所 5階 501会議室

出席者：

・委員6名（7名中）

川合委員、泉水委員、中道委員、西澤委員、英委員、米田委員

[欠席委員：石田委員]

・区役所

松尾政策企画課長代理、井上教育支援担当課長、佐多教育支援担当課長代理、
武田保健・子育て支援担当課長、森川保健副主幹、ほか

内 容：

1. 議 題

(1) 令和3年度淀川区運営方針(案)について

資 料：

【当日配布資料】

・次第

・区政会議委員名簿

・座席表

・(資料3) 令和3年10月以降の区政会議運営について

・(資料4) 淀川区令和3年度区長自由経費予算事業一覧

・(資料5) 「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」及び「淀川区地域福祉推進ビジョン(淀川区おせっかい共和国宣言)」について

・よどマガ3月号

【事前配布資料】

・(資料1) 令和3年度 運営方針重点的に取り組む主な経営課題（概要版）案

・(資料2) 区政会議アンケート結果

1. 議 題

(1) 令和3年度淀川区運営方針(案)について

○ご意見を頂きたい点について説明。（松尾政策企画課長代理）

○経営課題2 学校教育支援の充実の具体的取組 2-1-1～2-1-2 について説

明（井上教育支援担当課長）

- ・小学生補修充実事業について、対象は 17 校中 12 校ということであるが、17 校全部で取り組めないのか。（中道委員）

⇒対象校を増やすためには、指導員を増員する必要があるが、その指導員が見つからないのが現状である。学校としては曜日や時間を指定して実施したいと考えているが、その日時に継続して協力いただける地域の方とのマッチングが困難な状況である。区としてもこの事業内容の説明をより丁寧に行っていく必要があると考えている。（井上教育支援担当課長）

- ・小学生補修充実事業について、学校によって実施している内容が違うように思われるが、そのことはどう考えているのか。（米田委員）

⇒参加している児童は、積極的に学びたいと思っている児童や、宿題をしたいと考えている児童などさまざまであり、内容を統一するのは難しいと考える。学校によって実施方法は違っていても、まずは机に向かうという習慣を小学生の時期から養っておくことが重要と考えている。（井上教育支援担当課長）

- ・ヨドジュクについて、以前、実施場所を増やす要望をしていたが、その後どうなったか。また、受講生を増やす努力はどのように行っているか。（米田委員）

⇒現在コロナの影響もあり、受講生が定数の半分程度である。事業者が事業を運営していくためには、受講生をある程度集める必要があるので、場所を増やしても受講生が増えないのなら、事業の継続自体が困難になる。また、受講生を増やすために、募集記事を「よどマガ！」に掲載したり、新一年生へのチラシの配付や、春休み中の無料体験入塾なども行っている。（井上教育支援担当課長）

- ・ヨドジュクについて、自宅から遠いから通えないという声も聞く。意欲があるのに近くにないから行けないのは、非常に残念である。（中道委員）

⇒会場は学校との調整がつけば増やせると思うが、受講生が集まらなければ、事業者が応募してくれない。地域によっては既に塾が多くあり、そちらを利用している生徒もいるのではないか。（井上教育支援担当課長）

○経営課題 2 子育て支援の充実の具体的取組 2-2-1~2-2-2 について説明（武田保健・子育て支援担当課長）

- ・地域子育てサロン助産師巡回相談について、新高の子育てサロンは、コロナの関係で一年間中止した。今後、助産師に来てもらって再開しようかと考えているが、どのようにしたらよいか。（米田委員）

⇒助産師との日程調整の関係があるので、計画があるのなら早めに連絡してほしい。（森川保健副主幹）

- ・地域子育てサロン助産師巡回相談事業とプレパパ・ママ等ファミリー子育て教

室は、コロナ禍で実施しにくい事業だと思うが、令和3年度もこれまでと同じように実施できない状況になった場合、確保した予算はどうなるのか。(中道委員)

⇒プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室は、今年度も緊急事態宣言が出て事業が実施できない時期もあったが、場所や日程を調整して4回実施することができた。大変人気のある事業なので、令和3年度についても今年度同様に調整を行い、実施していきたい。(武田保健・子育て支援担当課長)

・今年度、予算が余った事業はなかったのか。(英委員)

⇒プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室は予算を余らせることはなかったが、地域子育てサロン助産師巡回相談事業は、年度の前半に会場の確保ができず、予算は使い切れていない。(武田保健・子育て支援担当課長)

・子育て支援の事業では、子どものマスクの着用について、方針や基準は決めているのか。(中道委員)

⇒方針や基準は決めていないが、乳児の場合マスクを着用しても自分で取ってしまうこともあり、強制的に着用することにはなっていない。幼児については保護者の判断に任せている。保護者については着用をお願いしている。(森川保健副主幹)

・事業全般について言えることだが、実施状況をビデオ撮影したものや、参加者からの意見をまとめたものを活用してPRしてはどうか。地域で皆が一生懸命実施している内容が伝わっていないと思う。(西澤委員)

⇒検討させていただきたい。(武田保健・子育て支援担当課長)

・本日説明のあった事業は区の事業なのか。(川合委員)

⇒地域で実施していただいている子育てサロンに、区役所が行かせていただく事業。(武田保健・子育て支援担当課長)